

アップス 座談会

アップスをよく利用してくれている若者に集ってもらい、すごろくで出たお題の答えを各々がスケッチブックに書いて自由に話す「すごろくトーク」の形で座談会を行いました。

参加者同士でワイワイ話していると「楽しそう！」と途中参加する若者も。10名ですごろくを囲んで話しました。

「アップスでこんなことがやりたい！」

若者たちは想像以上にスラスラと書いている様子。多かったのは「バスケ大会」「卓球大会」「運動会」など、スポーツを楽しみたいという意見です。体育館やホールを広く使って体を動かすことができる企画は、若者にとって魅力的なようです。また、「ゲーム大会がやりたい」という若者も複数いました。普段はそれぞれでゲームを楽しんでいるので、皆と一緒にやってみようという思いがあるよう。「多目的ホールのプロジェクターでゲーム画面を映して、トーナメント方式でやりたい！」と具体的なイメージも浮かんでいました。

「私にとってアップスはこんな場所！」

若者からは「アップスは第二の家」「友達と仲良くなれる、友達が増える場所」「みんなとゲームやスポーツで楽しめる所」といった声が聞かれました。一緒に来た友達と交流を深めることはもちろん、同じ学校でも知らなかった人と友達になったり、自分よりも年上の高校生や大学生との出会いがあったりと、若者にとって家や学校にはない魅力があるのでしょう。



「今年度のアップスに点数をつけるなら？」

「いつ来ても楽しい」「好きな時に好きなことができる」と高い点数をつけてくれた若者が沢山いました。一方で、「盛り上がり過ぎて、うるさい時がある」との意見も。

他には「もっといろんな企画を増やしてほしい」「やりたいことが実現できていない」という声もありました。個人や友達と一緒に楽しめる企画はもちろんですが、新しい出会いがある企画もほしいと感じているようです。

アップスの今後について

アップスが若者一人ひとりにとって居場所の一つになっていることを実感するとともに、数多くの「やってみたい」気持ちを聞くことができました。一方で、今年度はその声がなかなか実現に結びつきませんでした。アップスでは若者と共に何から始めるかを考え、小さなステップを沢山踏み、「やってみたい」「できた！」と実感を持つことで、いずれ自分の力でアクションを起こせるような経験の場にしていきたいと思っています。それぞれのタイミングではじめの一步、さらにもう一步を踏み出すことができるよう、ユースワーカーはいつでも準備をして待ちながら、背中を押す“きっかけ”を日常に仕掛けていきます。

(記録：ユースワーカー 井上・鈴木)

アップス PRESS

特別号
March 2021

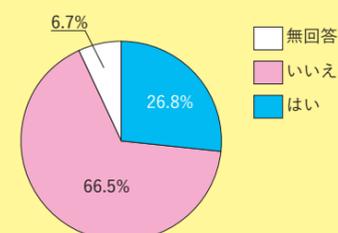
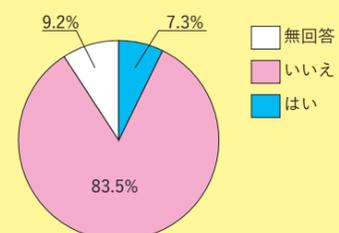
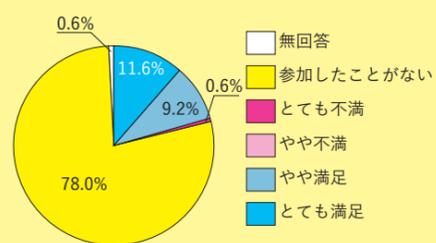
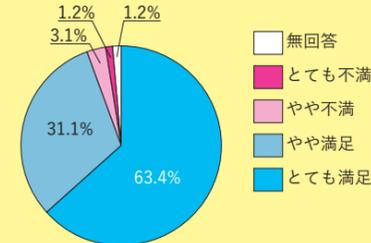
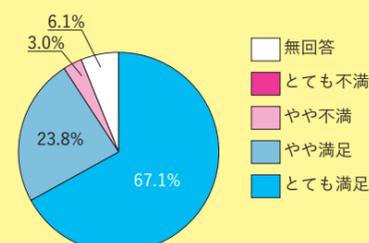
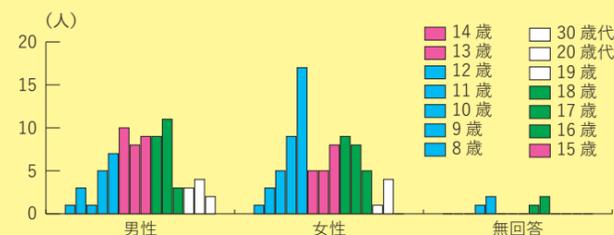


コロナ禍でも、できることを

令和2年度をふりかえると、新型コロナウイルスに振り回された1年間でした。新年度と同時にアップスは臨時休館になり、若者がどこで、どんな生活を送っているかが、まったく見えない状態からスタートすることになりました。臨時休館中は少しでも若者とつながれるようにと、「ユースワーカーと電話で話そう」、Zoomを利用したオンラインの居場所「アップスオンライン」などを実施しました。施設が再開してからは、感染予防対策をしっかりとした上で、どうしたらイベントなどができるか、若者といっしょに考えながら進めていきました。こうした姿勢は若者にも少しずつ定着していき、3月に実施したアップスフェスでは、実行委員会が中心となって、多くの若者に表現の場を提供することができました。

アップス 利用者アンケート

昨年度の3月に予定していた利用者アンケートは、コロナ禍で延期することになり、10月7~21日に実施しました。来館した利用者には質問紙に記入してもらい、アップスへの満足度などの評価項目のほか、利用者自身の自己肯定感や居場所などについての項目に回答してもらいました。回答数は164。結果の抜粋を記載しています。



意見表明の場を保障

4月からの臨時休館では、若者の意見を聞くことができなかったため、その反省をいかし、1月の緊急事態宣言発出の際には、若者へのアンケートを実施しました。これからも若者の声を聞きながら運営を進めていきます。



世田谷区立希望丘青少年交流センター「アップス」

Access 〒156-0055 世田谷区船橋 6-25-1-3F

HP <https://ups-s.com/index.html>

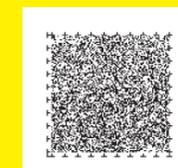
Twitter @ups_setagaya

Tel 03-6304-6915

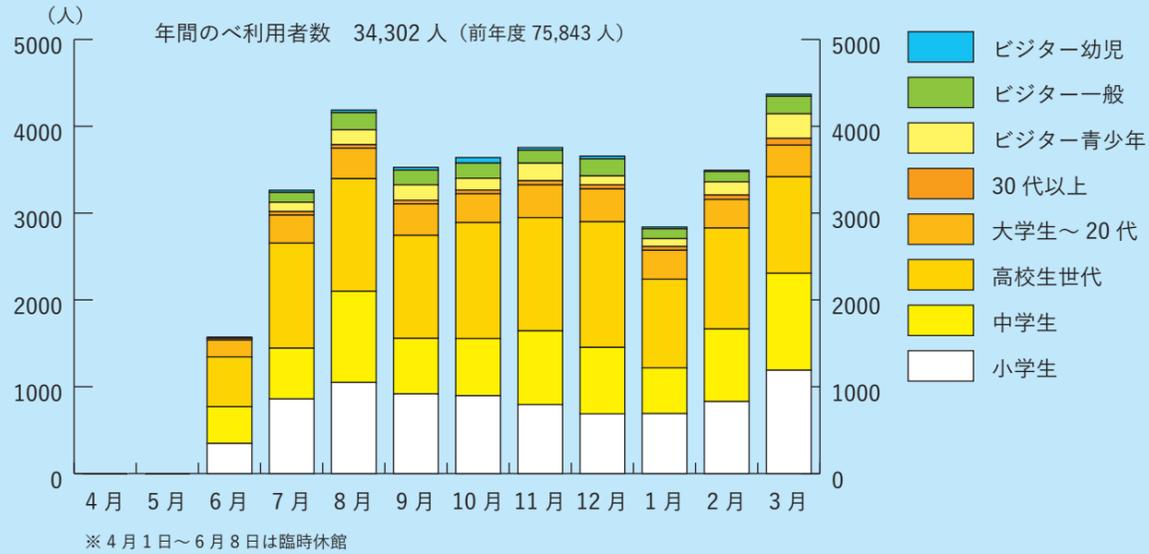
Fax 03-6304-6916



▲HPはこちら



統計ポイント 01 月別のべ利用者の推移



統計ポイント 06 P-work の参加状況

カフェを活用した就労体験・支援プログラム。研修を修了すると、6か月を上限に就労が可能。(対象：義務教育修了者～39歳)



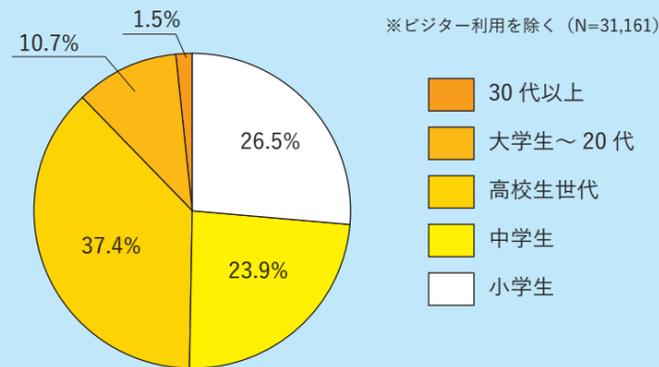
統計ポイント 07 学校別登録者数

※2020年度の新規登録者のうち、登録数の多い学校と登録数

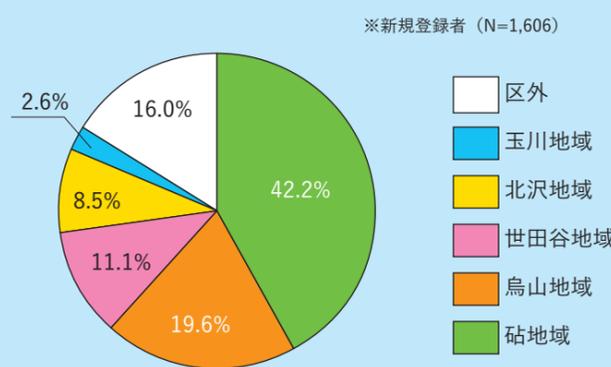
小学校	登録数	中学校	登録数
千歳台	80人	船橋希望	70人
希望丘	70人	千歳	53人
船橋	67人	芦花	47人
芦花	49人	桜丘	34人
経堂	46人	緑丘	32人

高等学校	登録数	大学・専門学校	登録数
大東学園	64人	早稲田	10人
都立芦花	58人	日本	9人
都立千歳丘	58人	帝京	5人
都立松原	33人	東京都市	4人
国士館	23人	成城・世田谷福祉	3人

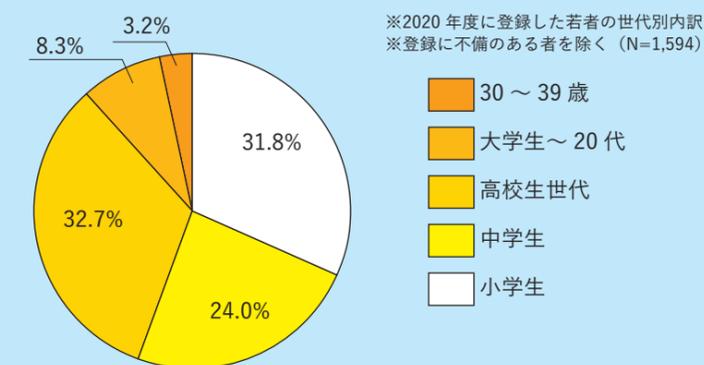
統計ポイント 02 利用者の年齢区分



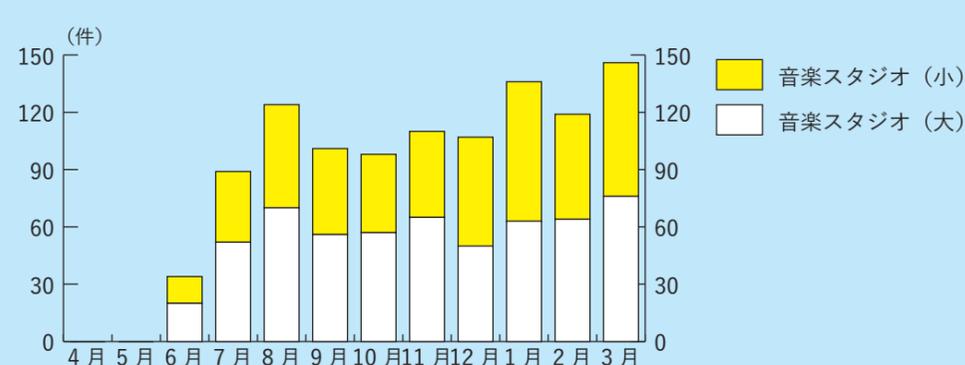
統計ポイント 04 新規登録者の居住地



統計ポイント 03 新規登録者の内訳



統計ポイント 05 音楽スタジオの利用件数



統計ポイント 08 若者の主体的活動

プロジェクト	開催月	参加数
楽しい食卓プロジェクト (11回)	10～1月	111人
食卓プロジェクト特別版	11月	8人
J-meeting [若者運営委員会] (10回)	6～3月	80人
アクション「アップスマイスターch」	7月	1人
アクション「アップスLIVE」	8月	22人
アクション「3Dプリンター講習会」	2月	3人
アクション「はたらく犬に会ってみよう!!」	2月	12人
アクション「アップス模試」	11～1月	14人
サークル活動「手話」	7～3月	74人
サークル活動「ジャズ研究会」	11・12月	10人
サークル活動「アオミドリ」(環境問題)	7～2月	29人
日仏中高生交流会	6～3月	30人
アップスフェス 実行委員会	10～3月	94人
アップスフェス 出演者会議	2月	23人
アップスフェス リハーサル	2・3月	32人
アップスフェス 前夜祭	3月	18人
アップスフェス	3月	45人
スポーツプログラム	9月	2,122人
アップス座談会	3月	10人
居酒屋のめない	12・1月	33人
ひめっこアート展	8～11月	60人
アップスギャラリー	9月	1人